

平成 31 年度(2019 年度) 事業計画 案

(2019・平成 31 年 1 月 1 日～2019・(新元号) 年 12 月 31 日)

新元号での最初の年、2019 年事業計画は主な活動 20 項目を核に張り切っていますが、課題はなんといつても会の若返りと会員増を図る事。異業他団体との共催による楽しいイベント？積極的拡大志向を目指したいと考えます。旅行代理店と自然学ツアー企画、山小屋への出張講座・講師派遣なども試みていきたいと存じます。活性化への弾み、担当会員の奮起を期待します。以下、内容と成果はそれぞれの担当理事より報告いたします。

1. 通常総会・記念講演

開催年月日： 平成 31 年 2 月 24 日(日)
開催場所： 新宿区立 環境学習情報センター (エコギャラリー新宿) 研修室
記念講演： 富樫 均 氏 「地形地質と信州の自然」

2. 活動部会

- ・インタークリー活動 (奥志賀) 担当理事：杉山顕一
- ・インタークリー活動 (首都圏) 担当理事：石井誠治・中村華子
- ※丸の内エコツツェリアでセミナー開催が可能だが、今後の活動は要検討
- ・富士山森林復元活動 (自然再生活動部会) 担当理事：中村華子
- ・御宿里山保全活動 (自然再生活動部会) 担当理事：中村華子
- ・高山帯長期植生モニタリング活動 担当理事：下野綾子
- ・北上・三陸活動 担当理事：中村華子

3. 現地講座・室内講座

基礎講座となる「山の自然学講座 2019」全 10 回、フィールドや現場を見ながら自然を体験する・学ぶ現地講座、室内講座を開催します。各活動の中でも適宜現地講座を行います。

- ・山の自然学講座 2019 担当理事：大蔵喜福・室村 聰
室内講座 7 回と日帰り現地講座 3 回の全 10 回を春期と秋期に分けて実施
- ・現地講座 (山の自然学講座)
 - 信州講座 担当理事：池田昌史・権藤司
 - 志賀高原講座 担当理事：杉山顕一
 - 首都圏講座 担当理事：傍島夏生・秦和寿・門司和夫
 - 三陸講座 担当理事：中村華子 そのほか、随時開催
- ・室内講座 (山の自然学講座)
- ・自然学ツアー／現地講座 (旅行会社主催のツアーを企画もしくは講師派遣)
※他団体と共に開催の行事なども積極的に検討。適宜・随時検討します

4. 四季の行事と会員懇談会

会員の発議により適宜、計画・開催

5. 会報の発行

担当理事：池田昌史・権藤司・中村華子
・年会報 「山から始まる自然保護 第 18 号」の発行 2019 年 3 月刊行予定

6. その他の事業

- ・カレンダー作品応募写真展「山の自然学への第一歩」 2 月 24 日開催
- ・普及促進のための講習会の企画運営 担当理事：大蔵喜福
- ・ライチョウ保護の啓蒙活動 担当理事：大森弘一郎
- ・ホームページの運営 担当理事：下野綾子

- ・会員ブログの運営 担当理事：中村華子
- ・マーリングリストの運営（会員連絡用メールとは別、参加申込み制） 担当理事：傍島夏生・中村華子
- ・後援行事：5月24日～26日 日本山岳会「高尾の森づくりの会」
- 三宅島の緑化活動

活動部会の事業内容と平成31年度（2019年年度）の予定

志賀高原インターパリテーション活動 担当理事：杉山顕一

活動 WEB： <https://sigakogen-inpre.jimdo.com/>

志賀高原の自然をフィールドに、昼間の自然ガイド、夕食後のミニトークを行います。多くの方に自然を知ってもらいたい、志賀高原の自然を体験し愉しんでもらいたい、一緒に活動する仲間を増やしたい、という目的で毎年実施しています。ネイチャーウォーキング、山歩き、木の実のクラフト体験などを行います。

募集：インターパリテーション経験者及び体験希望者を募ります。自然の魅力・不思議、自然から教えられたことを伝えてください。

ミニトークは自然に関することであれば、テーマ・内容は自由です。ともに楽しみましょう。

2019年活動日程：8月1～15日

対象：奥志賀のペンション シャレークリスチャニアに宿泊のお客様

内容：ガイドウォーク（昼）、ミニトーク（夕食後） ※PC、プロジェクター有

高山植生の長期モニタリング 担当理事：下野 綾子

活動 WEB： <http://www.shizen.or.jp/monitoring/>

木曽駒ヶ岳をはじめとする高山帯で植生の長期モニタリングを行っています。長期モニタリングとは、自然の定期健診です。できるだけ長く同じ方法で記録することで、自然の変化を知り、悪い兆候があれば早めにとらえることを目的としています。

2019年活動日程：7月26～29日 木曽駒周辺の現地調査

活動内容：継続調査プロットの温度計データの回収・植生調査と写真撮影を行います

自然再生活動部会 担当理事：中村 華子

森林は様々な形で私たちに恩恵を与えてくれる緑の社会資本だと考えています。森にも様々な形がありますが、それぞれを大切にする取り組みを行います。今年度も下記3地域を中心に活動します。三陸では地域振興にも役立つような活動を引き続き検討し、取り組みます。

(1) **富士山協定林 森林復元活動**：富士山の国有林で自然の森づくりを進めています。

活動 WEB： <http://shizen.or.jp/fuji/>

「人工林荒廃地→天然林」へ戻していく取り組みです。受け入れ団体、参加者のさらなる拡大を目指します。自然をより深く理解しながら活動するため調査活動や富士火山や天然林の観察会も実施。

(2) **御宿協定林 里山保全活動**：森林の手入れなどを通じて里地・里山を保全していく取り組みです。現地は典型的な谷戸地形と伝統的な農法の水田が残る地域で希少種も多く見られます。20年以上放置された造成地跡、斜面（人工林、二次林、自然林）、水田跡、湿地周辺の山林が主な対象地です。継続的な保全、再生活動、環境調査に加えてトレイルの開拓などを通じた活性化活動を検討しています。

(3) **自然再生活動／三陸**：屋敷林の再生・創出活動と海岸植物の保全・育成

活動 WEB： http://shizen.or.jp/tohoku/nativeplant_project.html

気仙沼の海べの森をつくる活動への協力から発展させ、屋敷林の再生活動に取り組みます。海岸林再生および保護活動、地域性種苗の生産協力、地産品を活用した活性化などにも積極的に関わりなが

ら継続します。希少種を中心とした、海岸植物の採集・保全・育成活動も継続して行います。

(4) **阿蘇の草原再生活動**：国内での貴重となっている草原生態系の保護を含む維持管理

阿蘇市波野地区の体験交流施設やすらぎ交流館などいくつかの団体と連携しながら進めている協働事業です。地域の植物を活用した復旧、自然再生活動に取り組み始めました。

2019年活動日程：8月に草原観察会と刈り払い試験の実施、10月に草原再生と種子採取を予定

北上・三陸の活動

担当理事：中村 華子

活動 WEB： <http://shizen.or.jp/tohoku/>

地域の自然を掘り下げ、再生・保全に取り組みます。地域の自然とともに暮らす人々に寄与すること、自然の価値を高め、保全しながら活用することを目的とします。

(1) **三陸現地講座の連続実施**：地元学講座とエコツアー、地産資源の掘りおこし

地域の魅力を掘り下げ、理解を進める講座を行います。地元の団体・地域の方との協働、共催を増やすことを目指します。旅行会社主催のツアーも企画できれば行います。

(2) **地産資源の活用、地域振興に貢献するプロジェクト**：地産資源を活用した地域間交流と貢献

日本工学院専門学校との協働で、周辺から伐採される木材を活用して地域のみなさんが必要としている建築を製作・現地へ設置・改良する活動を行ってきました。現地状況の変化にあわせて、地域に貢献できる活動を検討しながら今後も活動を継続していきます。また体験農園・果樹園を活用した地域の活性化や体験学習に協力します。地産品／特産品の創出などに取り組んでいる地域のみなさんとの協働、協力する活動も継続していきます。

四季の行事と懇談会

担当者 吉川 正幸（ほか）

季節を感じ、会員相互の交流を深める行事として、四季の行事と懇談会などを実施します。

(1) 1月 26日 新年餅つき山行・景信山 担当者：秦 和寿（実施済み）

(2) 3月 30日 井の頭公園のお花見会 担当者：吉川正幸

(3) その他 会員からの企画により適宜、企画・実施します